医療法人慧眞会 広報誌

自由と自立 そして「愛」

いな穂

Vol.9
平成31年
1月号

基本理念

自由（個人の尊重を重視）、
自立（社会支援の積極的な取り組み）、
愛（思いやり溢れるサービスの提供）
を不変のテーマとした医療・保健・
福祉の実践

基本方針

地域に根ざした医療、人にやさしい医療を確立し、向上心をもって常に努力する

七指針

1. 生命尊重に徹すること
1. 事故防止に努める事
1. 常に創意工夫を怠らないこと
1. 能率増進を図る事
1. 常に融和連携を保つこと
1. 消費節約に努める事
1. 行動記録を的確に記すること

「指導者に必要なのは形式的な理論ではなく情である。」

医療法人慧眞会　理事長　　穂積　慧

指導するときに形式的な理論ばかりで説明しても、何も心に響かない。たとえ拙(つたな)い説明でも、相手を思いやりながら指導したことの方がずっと心に入るし頭にも入るものである。

協　和　病　院

危機感がないところに危機あり

協和病院　院長　　善本　正樹

最近の世の中を見ていると思うことが、危機感がない人が多いことです。日本は人口が減少する世の中にあるのに、1000兆円を超える債務があって、中央銀行の禁じ手と言われている国債を大量に購入している日銀の政策を歓迎する人達がいて、出口が見えない日銀の低金利政策で何とか生き延びている日本の現状は、どう考えても普通ではありません。今の世の中は“ゆでカエル”と表現されますが、ぬるま湯に気持ちが良いと浸かっていると茹で上がったカエルになるように、現状に甘えていると気が付けば二進も三進も行かない危機があるのではないでしょうか。

私は危機感の塊のような人間です（と思っています）。現状に甘んじることはすごく危機感を覚えるのです。その危機感はどこで生まれたかを考えてみると、二つあります。一つは、阪神淡路大震災です。私の実家は神戸ですから、6000人余りの方が亡くなった地震は今も脳裏から離れることはありません。当日は秋田にいましたが、すぐに神戸へ駆け付けたことを思い出します。その光景は、自分の故郷が滅茶苦茶になった悲しさと大切な命が奪われた悲惨な思いでいっぱいになりました。神戸へ帰る度に震災のことを今も考えます。もう一つは、東日本大震災です。長閑な東北の光景が、巨大な津波に飲み込まれ、2万人近い人が亡くなりました。さらに、福島の原発事故は、日本という国の消滅になるのではないかと危惧しました。震災後、釜石へ病院職員2人と医療支援に行った記憶は鮮明に残っています。そして、ご縁があって、今も月に一度福島県相馬市へ行っていますが、その度に震災の悲惨さを感じています。

人が変わるとき、それは有事や危機があるときです。例えば、夕張市の医療崩壊があります。夕張市は財政破綻になり、市内の病院は閉鎖になり、入院する医療機関はゼロとなりました。それは、高齢化率が50%近い地区では、まさに危機的状況です。夕張市民は、“病気になれない”という危機感を持って、地区ごとに元気に暮らす創意工夫を考えたそうです。その結果として、高齢化率が変化ない中で、救急車出動回数912回から473回へ減少して、高齢者医療費は83万円から73万円と減り、癌、心疾患、肺炎などの死亡率が低下しました。このような数字が減ることは驚きであり、夕張市民の努力から生まれた結果でした。危機感から生まれた“夕張モデル”と言われています。

私たちが出来ることは、現状を冷静に分析することです。そこから考えられる危機感を持って下さい。危機感を少しでも克服するためにするべきことを考えて下さい。そんなとき、過去の震災や夕張モデルを思い出して、“明日は我が身”と思うことです。過度は禁物ですが、適度な危機感を持つことは、より良い未来へ繋がることになります。

事　務　部

事務部に新しい仲間２名が加わりましたので紹介いたします

9月21日付採用　渡邉千代勝さん　協和病院事務部庶務課（施設管理）配属
これまで、医療関係の仕事は経験がありませんが、設備修理や事務当直などで、がんばっています。

10月10日付採用　関　素子さん　協和病院事務部医事課（外来担当）配属
渡邉さん同様、これまで医療関係の仕事の経験はありませんが、素敵な笑顔で窓口業務をそつなくこなし戦力となっています。

皆さん、事務部の新人二人をよろしくお願いします。

渡邉　千代勝

関　素子

看　護　部

協和病院看護部のユニホームが変わりました

協和病院　看護部長　藤澤　広子

平成30年11月4日より協和病院看護部のユニホームがケーシー白衣からスクラブに変わりました。

そこで「ナース服の変遷」について少し調べてみました。19世紀後半フローレンス・ナイチンゲールをはじめ看護婦の服装は長そでのワンピースの上に袖のない白いエプロン、帽子を着用していました。日本では1927年日本赤十字社が組織として初めて看護活動を行う際の制服がワンピーススタイルのユニホームでした。その後1960年代には高いデザイン性とともに、制電性・防皺性・制菌性など機能性素材が開発され、1970年代には男性看護師が増えたことと、動きやすさからパンツスタイルの採用が増えました。1990年代より手術着として着用されていたスクラブは実用性が高く男女ともに着用できるユニホームとして広まりました。

ナース服はこのように数々の変遷を経て現在のように機能的デザインと発展してきました。

自分磨きは外見からともいいます。その外見の一つに服装（ユニホーム）が挙げられます。服装（ユニホーム）が変わったことで周囲からの印象が変わり、自身のモチベーションにも変化が生まれてきます。また、内側からの自分磨きにとしてマザー・テレサの言葉「5つの気をつけなさい」を付け加えます。

「5つの気をつけなさい」

『思考』に気をつけなさい。
それはいつか言葉になるから
『言葉』に気をつけなさい
それはいつしか行動になるから
『行動』に気をつけなさい
それはいつしか習慣になるから
『習慣』に気をつけなさい
それはいつしか性格になるから
『性格』に気をつけなさい
それはいつしか運命になるから

服装（ユニホーム）という外見を変え、看護・介護に対するモチベーションの変化に繋げ、これまで以上にご家族・患者さんとの信頼や親しみ、安心感をご提供できるよう、気を引き締めて看護職員一同が新しいユニホームに袖を通しています。

医務部（地域支援連携室）

退院支援について

地域支援連携室長　浅沼　知一

地域支援連携室として、昨年・今年で最も力を入れて来たのは退院支援です。

平成26年より施行された「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行について」でも、「新規入院者は（原則）1年以内に退院できるように」と明記されており、今後ますます精神科病棟での入院期間は短縮され、退院支援の重要性が増してくると考えられます。（重症者については、1年を超えて入院となるケースもあります）

具体的な退院支援の実践として、以下のようなことを行っています。まず、自宅への退院の場合は、退院後の環境に関するアセスメント（査定・評価）を行います。患者様のサポートをして下さるご家族やご親戚などがいらっしゃるか、その方々はどの程度の関わりをして下さるか、などについて検討します。家族に症状について理解して頂き、ご家庭で患者様に対し適切な対応をして頂くことが、退院後の療養生活を安定させる上で大切な要因と考えています。退院後の環境調整のために、入院中にご家族に来院して頂き、主治医や治療スタッフと面談して頂いたり、看護師や精神保健福祉士等がご自宅にうかがう退院前訪問指導などを行っております。また、退院時には退院カンファレンスを開催し、医師・看護師・薬剤師・作業療法士・栄養士・精神保健福祉士など多職種が助言や相談対応を行っておりました。

ご自宅への退院が困難な方、退院後にご家族等からの支援を受けられない方の場合、障害福祉サービス等の制度をはじめとする、社会資源の活用を検討します。グループホーム・生活訓練施設・救護施設などへの入所、訪問看護・ホームヘルパーなどの訪問による見守り支援、就労支援施設や地域活動支援センターへの通所など、様々なサービスを組み合わせて、地域生活を応援しています。

患者様・ご家族様・地域の皆様には、精神科の医療における退院支援の強化、在宅や地域での療養促進などの流れをご理解頂き、お力添えを頂けますようお願い申し上げます。

協和病院のご案内

＜診療時間＞ 午前9:00～12:30　午後1:30～ 5:00
＜休 診 日＞ 土曜、日曜、祝日
＜届出している施設基準＞

●療養病棟入院基本料1（57床）●精神療養病棟入院料（120床）●医療安全対策加算2●入院時食事療養費（Ⅰ）
●感染防止対策加算2●患者サポート体制充実加算

【内　科】●療養病棟療養環境加算1●認知症ケア加算1
【精神科】●精神科作業療法●医療保護入院等診療科●重症者加算1●退院調整加算●精神科地域移行実施加算
【外　来】●ニコチン依存症管理料

日本医療機能評価機構 認定第 JC2050 号

TEL:018－892－2881　FAX:018－892－2888　〒019-2413 大仙市協和上淀川字五百刈田 277 番地 1

ケイメンタルクリニック便り

職員紹介

仕事と健康　　事務部　佐藤　真希

クリニックで働き始めてから半年が経つのはあっという間で、大げさではありますが、入社当日が昨日の事のようです。毎日、多くの患者さんの対応と、同時に起こる様々な業務に追われ、まだ慣れていない部分もありますが、とてもやりがいのある仕事です。今は精神科の知識だけでなく、患者さんの顔と名前を一人でも多く把握できるように、自分なりの方法で覚えるようにしています。患者さんにとって気軽に声をかけやすい存在でいれるのであれば、とても光栄です。

また、私は仕事を始めてから、健康でいることが何よりも大切だと改めて感じました。医療事務は、目と頭を多く使う仕事で、常に周りに気を配るようにしなければいけません。毎日、気を張って仕事をしていると頭や目だけでなく、想像した以上に体への負担が大きいのです。疲れが溜まると体調を崩しやすくなるので、体力作りと、今の時期は特に衛生管理を意識しています。仕事も大切ですが、一番は自分が健康でいることだと思うので、自分自身をサポートしながら、今後とも元気に働かせていただきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

昨年を振り返って　　看護部　打川　千鶴子

昨年の4月からケイメンタルクリニックに佐々木道基先生も診療に加わって下さり、クリニックでは5人の先生方が診療されています。2診体制の日が増え、ますます活気あるクリニックになっています。

多忙な毎日で、平昌オリンピックの開催が遠い昔に感じられるほどに、1日1日があっという間に過ぎてしまった1年でした。

私事ではありますが、息子達がスポーツ少年団で野球をやっています。シーズン中の休日は、練習試合や大会に追われ、休む間もなく月曜日が始まる生活でしたが、息子達の生き生きと野球をする姿を見て、たくさん楽しませてもらいました。「野球がしたい！！」「大会で勝ちたい！！」という野球大好きな気持ちをストレートに表現してくれる息子達のおかげで、また明日からもがんばろうと思えるパワーもたくさんもらいました。今はシーズンオフになり、心も体も少し休ませてもらっているところです。

クリニックに勤務させて頂き、10数年…。子育てをしながら、働ける環境にいられることに感謝だなぁと思える1年でもありました。

精神科デイ・ケアから

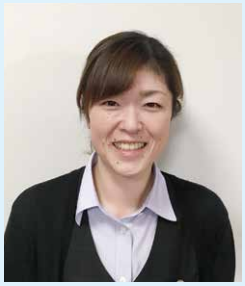
・家から出てみたいけど不安だし、どこで何をやればいいのか…
・人とワイワイするのが苦手。静かに自分の興味のあることをやりたいけど…
・仕事をしたいけど、無理かなぁ…
このように考えることはありませんか？
当デイ・ケアにはグループ活動もありますが、参加は自由に選択できます。
自分の課題に黙々と取り組む方、就職を目指す方もいらっしゃいます。
“今の自分”から、ゆっくり始めてみませんか？
見学は随時受け付けております。担当者まで電話連絡のうえ、ご来院ください。

デイ・ケア担当　山谷・佐藤

TEL:0187－66－3020　FAX:0187－63－0041　〒014-0027 大仙市大曲通町10番8号

サンメンタルクリニック

はじめまして



事務　佐々木　美紗

平成30年10月10日よりサンメンタルクリニックに入社いたしました、事務の佐々木美紗と申します。

当クリニック入社以前は大仙市内の眼科クリニックに勤めておりました。眼科以外での事務経験がなく、精神科での仕事は初めて見聞きすることが多々あり、日々新たな知識が増えていく事を実感しております。

この先、さらにより多くの知識を身に付け、笑顔での応対を大切にし、職員の皆様や患者様に信頼していただけるような事務員を目指しております。

どうぞよろしくお願いいたします。

看護部より

精神科訪問看護をしています

精神科訪問看護制度は、精神疾患をお持ちの方や心のケアが必要とされる方に、スタッフがご自宅にお伺いして、地域で安心して生活継続できるよう支援する制度です。

お薬や病状の管理、日常生活への助言や援助、福祉サービスや相談窓口・社会資源などの情報提供、就労に向けた助言や援助、主治医への連絡や相談などトータルサポートをしています。

すこやか教室

デイケアプログラムの一環として、毎月最終月曜日に「すこやか教室」というミニ健康講座を開催しています。

季節ごとに身近なテーマを取り上げてお話をしています。

興味を持たれた方は、サンメンタルクリニックへお気軽にお問い合わせください。

●診療科目　心療内科・精神科
●診療時間　AM9:00～12:00
　　PM2:00～4:00
●休 診 日　土曜、日曜、祝日
●管 理 者　三島 由美子（精神保健指定医）
●電話番号　018-838-4862

「診療」、「こころの相談」ご希望の方は、あらかじめご連絡願います。

TEL:018－838－4862　FAX:018－838－4863　〒019-2413 大仙市協和上淀川字中嶋33番地 やすらぎの里内

介護老人保健施設　サングレイス

『横取り』&『バイタリティー』

療養科１丁目介護福祉士　小野　郁子

私が1丁目に配属となり7年が経ちます。老健の経験はあったものの、認知症専門棟は初めてでした。最重度障害と診断されている入所者の周辺症状は想像以上に凄まじく、「どえらい職場に来てしまった（泣）」と、不安で仕方がなかったことを覚えています。もう一つの衝撃は看護師がトイレ誘導やおむつ交換、入浴介助を行っている事、更には師長も同じ仕事をしている事でした。介護の現場で看護師がそれらの業務を行っている姿を見ると、介護士の私としては当然負けるわけにはいかず、更に仕事に力が入ります。

このような業務体制なため、介護士は看護師、看護師は介護士の負担を少しでも軽減しようと、決まり事は守りつつ、お互いに仕事を『横取り』し合います。

入所者の状態によって臨機応変が求められる1丁目は、『横取り』という名の“気遣い”や“優しさ”が、事故防止や業務の流れに大きく左右します。限りなく少ない自分の隙間時間を利用し、他のスタッフのために人知れず補助し、補助してもらったスタッフは、“ほっこり”した分、何かの形で他の補助を行う。業務内容としては些細なことかもしれませんが、多忙な業務を効率よく遂行し、人員不足をカバーできる何よりの秘訣だと私は考えます。また1丁目では、入所者の状態によって業務が困難となることが度々あります。問題が起こる度に入所者への変わらないサービスと円滑な業務遂行を支柱に挙げ、スタッフ全員が意見を出し合い、業務整理や改善をして早期解決を図ります。その際の団結力や発想力は頼もしく、自分達に襲いかかる『壁』を蔓のように這い上がるバイタリティーも1丁目ならではと感じます。そんな『横取り』やバイタリティーのおかげで、多忙を苦痛と思わずに仕事している職員は私だけではない気がします。

子育て世代の私達にとって、部活動や学校行事、子供の体調などにより、家族の協力だけでは困難なケースもあり、仕事に支障が出てしまう事があります。そんな私達の家庭状況や体力面を勘案し、勤務体制を整えてくれる師長や主任、それをお互い様の精神で支え合える仲間達。そんな恵まれた環境だからこそ、勤務の日は『今日も入所者や仲間のために能力以上の仕事をするぞ！』と思わずにはいられないのです。

サングレイスは何故か過酷な印象が強いようです。でも実際は、師長、主任を始め、スタッフ全員が同じ方向に向かって業務をこなし、結果、「今日もあっという間だったね（笑）」と、びっくりするほど早い一日と充足感を得られる施設なのです。

真摯に業務に取り組む傍ら、ゲラゲラと大きな口を開けて入所者と笑い合っている賑やかな1丁目に、どうぞ足を運んでみて下さい。

TEL:018－892－3260　FAX:018－892－3663　〒019-2413 大仙市協和上淀川字五百刈田 278 番地 5

介護付有料老人ホーム　サンフェザント

「あっという間」

生活相談員　藤田　祐介

今年の春からサンフェザントの生活相談員として就き、あっという間に冬がやってきました。

まだまだ職務に慣れず勉強不足もありますが、同じ管理課や生活科の職員からサポートしていただき、生活相談員として一つずつ歩んできたと感じております。

サンフェザントで働き、一番驚いたことは利用者様と一緒に過ごす行事の多さです。春は車で角館の武家屋敷や河川敷に行き花見をしました。マックスバリュー等で欲しいものを選んで購入する買い物レクリエーション。好きなもの、また食べたいものを伺い、注文して食べられる回転寿司店にも行きました。職員と利用者様が一緒になって楽しむ、施設の中での大運動会。ブドウ狩りや紅葉ドライブにも行きました。また毎月希望する方には和ピアにある図書館へ行き、職員と一緒に本も借りに行きました。

私も一緒に行事へ参加しました。どの行事も好評で利用者様から「いやぁ、楽しかった。また連れて行って欲しいな」「また今度寿司を食べにいきたいな」「いつ、あの行事ある？」と行事を通して活き活きされている姿を見ると、私たち職員も笑顔になります。

季節はあっという間に移りましたが、これからも利用者様と共に過ごすひと時を大切にし、家族の様な温かい支援を提供できるよう努めてゆきたいです。

●サンフェザントご利用相談窓口

サンフェザントでは、ケアマネジャーが常時ご相談に応じています。
介護保険のことであれば、入居のご相談以外も受け付けますので
お気軽に声を掛けてください。

TEL:018－853－8990　FAX:018－892－3033
〒019-2413 大仙市協和上淀川字五百刈田 277 番地 5
ＵＲＬ：http://www.keishinkai.net/

グループホーム　サンエルフ

ホーム長　菅原　裕子

11月末現在、71歳から101歳までの18名の方がサンエルフに入居しております。

介護を必要とする認知症を有しているものの、家庭的な環境のもとでこれまでの生活リズムを保ちながら、少人数で共同生活しているサンエルフの最近の様子を紹介します。

入居者一人ひとりの誕生日にはささやかなプレゼントを渡しお祝いをしています。誕生日のおやつはケーキになります。

歌や舞踊のボランティアの方々が訪れ楽しませてくれます。ボランティアの方にリクエストして歌ってもらったり、終わった後は一緒にお茶を飲んですっかり顔馴染みの関係になっています。いつもありがとうございます。

ハッピーバースデー

サンエルフの後ろの畑で収穫した枝豆でずんだ餅を作りおやつで提供しました。スタッフが枝付きの豆をホーム内に運ぶと、たくさんの入居者の方が枝豆の周りに集まりにぎやかな豆もぎになりました。

菊の下処理を入居者の方に行ってもらいました。とてもにこやかな表情で作業をしています。2019年、穏やかに過ごせますよう願っています。

うたごえ喫茶

ボランティアの舞踏

ずんだ餅

菊の下処理中

TEL:018－881－6565　FAX:018－892－3639　〒019-2413 大仙市協和上淀川字五百刈田 277 番地 1

グループホーム　ケイハウス水仙・なごみ（共同生活援助）

地域活動に参加して

サービス管理責任者　高橋　大輔

4月15日（日）に「全市一斉クリーンアップデー」に合わせて、協和合貝地区の清掃活動に職員・水仙の利用者さんで参加し、早朝からあいにくの雨模様でしたが、地域の方々と一緒に清掃作業を頑張って行い、地区会長さんからも労いの言葉をいただき、みなさんとても良い表情をされていました。

6月24日（日）に合貝地区の「花の植栽事業」が行われました。今回は力仕事が主な作業ということで、ケイハウスなごみの男性利用者さんと職員で参加しました。時折青空もみられ、地域の方々に「ゆっくりでいいよ。無理しないでね。」などと声をかけられ、利用者さんも汗をかきながらも笑顔で頑張られていました。

ケイ総合ケアセンター（障害福祉サービスの複合施設） …… 〒019-2401 大仙市協和境字苅谷沢10　TEL:018－881－6166（代）
○自立支援指定相談支援事業あさひ
○グループホーム ケイハウス なごみ（共同生活援助）

○グループホーム ケイハウス 水仙（共同生活援助） …… 〒019-2411 大仙市協和船岡字大袋1の34　TEL:018－892－3011

『慧眞会祭』を開催しました

220名の方にご来場いただきました

お楽しみ抽選会、会場が一瞬静まり返りました

10月20日(土)、恒例の『慧眞会祭』を開催しました。抜けるような青空のもと、およそ220名の方々にご来場いただきまして盛大に行うことができました。これも、皆様方のご支援とご愛顧によるものと心より感謝申しあげます。

また、サンメンタルクリニック 三島所長の特別講演会にも、会場に入れきれないほどのたくさんの方々にお集まりいただき重ねて御礼申し上げます。

サンメンタルクリニック
三島所長による特別講演です

民謡名人位となった
小野花子さんのショーです

平成30年度『精神保健福祉入門講座』の修了式が行われました

穂積理事長より、受講生の皆さん一人ひとりに修了証書が手渡されました

皆さんの「笑顔」が、とても素敵でした。今後は、地域での良き理解者としてご活躍をお祈りいたします

11月9日(金)協和病院において平成30年度『精神保健福祉入門講座』の修了式が行われました。この講座は、精神の疾患(障害)について正しい理解を深めるために10月から3回(計6時間)に渡って行われていたものです。当日は、穂積 理事長から18名の受講生の皆さん一人ひとりに修了証書が手渡されました。

編集後記

全国を巻き込んだ「金足農旋風」は惜しくも流行語大賞は逃しましたが、「平成最後の夏の甲子園大会」の主役はやっぱり「金農」でした。

おかげで、秋田県のマスコミへの露出度もかなり上がったように思います。経済効果も何十億円といわれ、「金農」の秋田への貢献度は計り知れないものです。

しかし、気が付けば「金足農旋風」は「冬将軍」へと入れ替わり、いつもの秋田の冬がやってきました。

でも、平成最後の冬は「金農」が残してくれた「旋風」が少しは心を温かくしてくれそうです。

(O.S)

患者さんの権利に関する宣言

1. 患者さんは、良質な医療を受ける権利を持っています。
2. 患者さんは、十分な説明を受けて治療を選択する権利を持っています。
3. 患者さんは、自己決定ができない状況にあるときには、法律上の代理人が同意する権利を持っています。
4. 患者さんは、治療に不安や疑問を感じた時には他の医療機関に意見を求める権利を持っています。
5. 患者さんは、治療や処遇に関する不満があるときには関係機関に意見を求める権利を持っています。
6. 患者さんは、自分自身の大切な情報が保護される権利を持っています。
7. 患者さんは、病気になって初めて得られる大切なことを探す権利があります。

医療法人慧眞会
〒019-2413 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田 277番地 1
TEL 018-892-2881 (代) FAX 018-892-2888
ホームページ http://www.keishinkai.net/